

PIWU 中国

第125号

2024年1月30日発行

郵政産業労働者ユニオン中国

発行⇒郵政産業労働者ユニオン中国地方本部
Tel&Fax⇒082-244-7719
piwu-chugoku@abelia.ocn.ne.jp
http://www.piwu-chugoku.net/



【小野委員長 開会挨拶の様子】

第12回地方委員会ひらく 24春闘「絶対賃上げ」を。

中国地方本部は1月20日、第12回中国地方委員会を開催し今次春闘への方針を討議・策定しました。昨年末唐突に発表された「郵便料金値上げ」：試算では30%に及び引上げでも黒字は一年しか保てないとの総務

省予測が示されていてます。会社側の先手か？との見方もある中、地本・小野康邦委員長は「昨年以上に厳しいが：」と前置きしつつ「皆の知恵を出し合い勝ち取っていきたい」「組織の底上げ・拡大も重要な課題：支部レベルで計画し持ち寄ってもらった上で」中国地方に於ける春闘行動の意識統一を図りたい、と述べ「実質賃上げ」実行を会社へ強気に迫るべく奮起を促しました。

各支部からは年末年始繁忙期のありさまや2月に稼働予定とされる新たな携帯端末導入への不安：また人事評価の「3年雇止め」あるか等、会社

施策への懸念が噴出する職場状況が語られています。提案された「活動方針」を承認し、パレスチナ紛争での「即時停戦」を強く求める当地方委員会『特別決議』を採択し会議日程を終了しました。

この後、コロナ禍を越えて久しぶりの「旗びらき」が催され、委員会参加者と広島県内支部組合員が集い懇親の宴を楽しみました。

今後の予定

★2月2日(金)～3日(土)
第12回中央委員会
～第2回全国書記長会議

★2月11日(日)AM/PM
第7回地本執行委員会
～第2回支部長書記長会議

★3月1日(金)・春闘第一波行動
日本郵政本社前行動
～国会議員会館にて
「院内集会」



【懇親「旗びらき」の一コマ】

『特別決議』(1/20採択)を裏面に掲載。

イスラエルのガザに対するジェノサイドに抗議し即時停戦を求める特別決議

昨年10月に始まったイスラエルのガザ地区に対する大規模な報復攻撃の開始から3か月が経過した。ガザでの死者数は2万4千人に達する(1/15 現在)と報じられている。国連をはじめ各国が停戦に向けた努力を続けているが「ハマス殲滅」を掲げるイスラエルにジェノサイドを止める気配は見えてこない。病院をも攻撃目標に加え多くの子供を含む一般市民の犠牲を顧みないイスラエルのこの蛮行に対し、世界の各地で大衆的な抗議活動が行われるなど国際社会の批判はますます高まっている。

広島でもイスラエルによるガザ地区へのジェノサイドに抗議する集会が行われており、原爆ドーム前では昨年10月13日から市民によるスタンディングが毎晩続けられ、パレスチナ問題の根本的な解決を訴えている。

昨年5月に開催されたG7サミット。評価はさまざまだが広島の知名度は確実に広まっており、広島から世界に向けて発信する平和のメッセージはこれまで以上にインパクトの強いものとなっている。広島の県民市民として戦闘の即時中止を求めることはもとより、広島に拠点を置く大衆組織・労働組合として訴えていくことも重要と考える。同時に、広島の企業、議会や首長が、世界中の企業や議会とともに「過ちを繰り返してはならない」と強く発信することが、武力によらず国際世論に基づく最も平和的な解決方法につながるものと確信する。

パレスチナの戦火はイエメンにも飛び火している。世界中に拡散する危険性もある。暴力は、新たな憎悪と報復を生むだけで何の解決にもならない。私たちは、こうした武力による紛争解決を望まない。国連の場において、パレスチナの和平について真摯に議論されることを望む。第12回中国地方委員会の総意としてこれを決議する。

2024年1月20日

第12回郵政産業労働者ユニオン中国地方委員会